



令和元年12月24日
田平南小学校 第15号
文責 校長 森本克彦

2学期も夢いっぱい南っ子！元気・安全に楽しい冬休みを！

77日。一番長い学期の中、それぞれの学年でいろいろな行事を通して、子ども達は多くを学びました。そのうち「50日」は、全校児童58名全員が出席した日数です。「元気に休まず登校する」…何よりうれしいことです。さて、終業式には、「みなみ」(通知表)を渡しています。「通知表」は、その名のとおり、子どもの生活や学習、出席の様子をまとめて、保護者の皆さんに通信するものです。また、結果の連絡だけではなく、『次の目標づくり(新しい自分探し)』の貴重な資料もあります。よって、保護者の皆様だけでなく、子ども自身が「みなみ」を見て、自分を振り返り、次の目標に取り組んでいけるようにしていきたいと考えます。「みなみ」は、『子ども達の足跡を見るもの、そして先を見るもの』それを受け、学校でも新年から、「できて進む！つなげる3学期」にしていきたいと思います。御協力、よろしくお願ひします。

みんなちがってみんないい



人はみんなちがいます。顔、性格、障害のある人、お年寄り、妊婦さん、男の子・女の子…など、みなちがいます。2日の人権集会では、山九の末吉研太さんより御自身の体験に基づく講話や車いすバスケット、運転してきた車についてお話をいただきました。また、人権週間期間中、グループホーム「かぶとむし」で学年ごとにふれあい交流をしました。いろんな人のかかわりを通して、自分を大切にするとともに、他の人の命や気持ちも大切にできることができる南っ子に育ってほしいです。

押し寿司つくり



9日、4年生は平戸の郷土料理「押し寿司」つくりをしました。押し寿司は、おくんちやお祭り、お祝い事に欠かせない料理です。今年も、食生活改善推進員の皆様に作り方の手ほどきを受けながら、箱型に寿司めしと具を交互につめて、おいしい押し寿司ができました。

最後まで力走！持久走大会

5日に持久走大会を行いました。低学年は800メートル、中学年は1200メートル、高学年は1800メートルを走りました。どの子も最後まであきらめずに走りぬき、全員が完走しました。初めて走る1年生も頑張って走りきり、感心しました。保護者の皆様の声援や伴走も後押しとなりました。



緑の少年団全県交流集会

7日～8日にかけて、国立諫早青少年自然の家で開催された『緑の少年団全県交流集会』に6年生が参加しました。これは、11月に開催された県央・県北発表会を受け、推薦されて参加したものでした。ここでも、発表内容に加え、生き生きとした発表態度も評価され、『優秀賞』を受賞しました。その他に、「竹の門松づくり」や少年団同士の交流活動を通して、地域・学校を超えた「絆」も深まりました。



緑の少年団全県

